

子ども安全協力の家

子どもが駆け込んできたら？

慌てず落ち着いて、子どもの話を聞いてください。

緊急性がある

たとえば…

- 知らない人に
 - ・声をかけられた
 - ・車に乗せられそうになった
 - ・追いかけられた
- 友だちが危険な目にあった

緊急性がない

たとえば…

- ・水を飲ませて
- ・トイレを貸して
- ・具合が悪くなった
- ・自転車のタイヤがパンク
- ・急な雷雨

110番(警察) 119番(救急車)

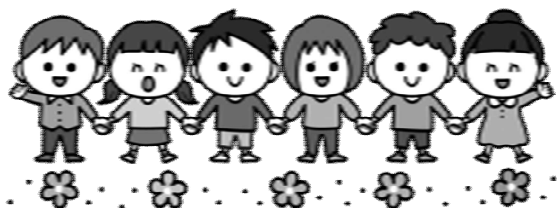
※館林警察署 75-0110

伝えること

- ①「子ども安全協力の家」であること
- ②何が起こったか
- ③いつ・どこで
- ④不審者についての情報

具体的な行動

- 水を飲ませる
- トイレを貸す
- 場所の提供
- 状況によって…
 - ・学校、家への連絡
 - ・救急車の手配



☆近所の学校の電話番号のメモ

小学校

—

中学校

—

子どもから話を聞くときのお願い

無理に聞き出そうとしたり、わからないことを何度も尋ねないでください。

※緊急の場合は、110番通報をしながら話を聞いてください。

※子どものプライバシーには十分な配慮をお願いします。

